

新型コロナウイルス感染症の状況に応じた東北公益文科大学の活動指針

本学では、学生に対して間断なく教育サービスを提供するとともに、学生が少しでも不安なく大学生活を送れるような環境を提供することを目指しています。そのために、今後の新型コロナウイルスの感染状況に応じてスムーズに対応内容を移行できるよう、「活動指針」を下記のように設定します。

レベル	定義 ・(例)	授業	学生の学内施設利用					実習	課外活動	就職活動等による県外移動
			教育研究棟	カフェテリア	図書館	新世紀館 2F	体育館			
4	<ul style="list-style-type: none"> 県内・県外の感染リスクが高い 緊急事態宣言発令中 県内で感染経路不明の感染者が複数出ている 	全てオンライン授業	学修環境のない者が授業時間のみ指定の教室を利用可	食事目的のみ可(80席) ※学内者のみ	利用不可	利用不可	利用不可	派遣しない	活動停止	県外への移動は原則として自粛。移動をした場合は14日間の自宅待機を求める
3	<ul style="list-style-type: none"> 県内の感染リスクは抑制されているが、県外の感染リスクは高い 県外で感染経路不明の感染者が多数出ている 県内で感染経路不明の感染者が出ていない 	各学年1科目(情報リテラシー)のみ対面授業 ・1年生:基礎演習 ・2年生:基礎プログラミング ・3年生:専門演習Ⅰ ・4年生:専門演習Ⅱ ・対面授業の前後の科目も対面で受講	対面授業の受講時のみ可 アドバイザーとの面談は予約の上、短時間で実施 コピーのための共同研究室利用は可	同上	貸出・レファレンス対応のみ 長期滞在不可(椅子撤去) 時間短縮、土日休館	同上	感染防止に配慮して利用可	原則として派遣しない	感染防止に配慮して活動可	知事が移動自粛をしていない場合は県外移動可 自粛を求めている場合は、活動後14日間の自宅待機を求める
2	<ul style="list-style-type: none"> 県内・県外の感染リスクが抑制されている 県外で感染経路不明の感染者がほとんど発生していない 県内で感染者がほとんど発生していない(1カ月程度) 	<ul style="list-style-type: none"> 授業科目の50%(履修者16名以下)を対面で実施 対面授業の前後の科目も対面で受講 	共同研究室、情報教室は教職員(TA)の監督下で利用可 ラーモンズはTA監督下で9-17時利用可	食事目的のみ可(160席) ※学内者のみ	学生、教職員限定で通常利用可 時間短縮、土日休館	通常利用(座席数減) 部室は荷物の取り出しのみ可(部室内での活動不可)	同上	派遣先との調整の上、感染防止に配慮し派遣可	同上	感染防止に配慮して移動可 公共交通はできる限り利用しない
1	<ul style="list-style-type: none"> 県内・県外の感染リスクが低い 県外で感染経路不明の感染者がほとんど発生していない(1カ月程度) 県内で感染者がほとんど発生していない(2か月程度) 	全ての授業科目を対面で実施 ・事情によってはオンラインでの授業の実施も可とする	共同研究室、情報教室、ラーモンズの利用可 課外活動による教室利用可	食事以外も利用可(160席) ※学内者のみ	通常開館(学外者利用可) 感染防止に配慮	通常利用(座席数減)	同上	同上	同上	感染防止に配慮して移動可
0	<ul style="list-style-type: none"> 県内・県外の感染リスクが極めて低い 全国的に終息が宣言される 	通常通り(発生以前の状況)								

※ レベル4から1までは、「新しい生活様式」を踏まえた感染防止対策を講じることを前提として、各対応を行うこととします。

※ 太枠は、現在のレベルを示しています。(令和2年6月18日現在)なお、本学の新型コロナウイルス感染症対策本部において、状況に応じて見直しを行います。